間コースとして実施され 4グループに分けて3日

いうことがあった。これ 指導内容を統一したいと

をきっかけにビジネスフ

おり、今回は第2グル

プ2日目が紹介され

刷 第4704号

教育を行っている。

種郵便物認可)

「寺子屋プロジェク

ト」として「経営力」

あることが特徴であり、

一つになっている団体で

フォ 工 連

刷 研修会を公

開

会長、以下フ 合会(櫻井醜 ム印刷工業連 日本フォー

ビジネスフォ は2月21日、 オーム工連) ム印刷技能



研修会の意義を説明。 きればと考えている」と 材マニュアルが一本化で

様を報道関係者に公開し 室において実施、その模

櫻井会長

フォーム工連では本年 暮秀一技術委員長は「日 の記者懇談会が行われ 業から中小零細企業まで た。あいさつに立った日 本フォーム工連は上場企 当日はまず、報道陣と

るための実機による集合 場現場で指導的立場にあ の一環として、全国の工 る社員を集め、ビジネス しているが、技術力強化 ノォーム印刷技能を高め 技術力」の強化を推進 マーケティングカ」 研修会は2月6日から 独自に機資材メーカーの 刷技術の認定制度がな オーム業界の標準化や、 で技術を伝承・開発して 協力を得ながら、今日ま スフォームの世界では印 があると考えた。ビジネ いる。そうした部分でフ その共通課題として技術 みなさんそれぞれが

宮腰社長

が大切であり、マーケテ

材を各社で抱えること

が、今後の競争の母体と

の知識三富講師から、

ンキ・給水ロールニップ

などの講習が行われた。 機の温度測定停止・稼働

講座ではオフィス知識

なっていくだろう」

続いて、研修会場に場

いと思った。現在この場 展開しており、ぜひお手 ネスフォーム業界で事業 社長は「当社は長くビジ ているミヤコシの宮腰亨 伝いをさせていただきた また、研修会に協力し



日暮委員長



午前は座学で講習

良い方向に向か クトと研修会開 っているわけで て語った。 催の背景につい 「日本全体が

となっており、また、当 っていないが、納入した 機械のメンテナンス拠点 所では、機械の生産は行 だ。この研修室はもとも っているインクジェット 社のコア事業の一つとな プリンターの開発拠点 ぜひ、 と当社のインターンシッ がら研修を進めており、 新入社員の教育施設とし プのための設備として準 ても使われている。実際 備されており、さらに、 に機械に触ってもらいな 機械メンテナンス

フォーム工連会 寺子屋プロジェ 長は次のように いさつした。 っている」とあ ができればと思 ためのお役立ち 業界標準を作る や運用において そして、櫻井

技術力プラスコトづくり 的な姿勢だ。 本が世界と勝負するには ない。これが大きな基本 かを見極めなければなら コトづくりで競争するの づくりで競争するのか、 されていくなかで、モ D、RPA、AIが導え その意味でこれから日 だが、技術力を持った人 野に人が流れていく時代 らかというとサービス分 り組むというより、どち

と洗浄方法、印刷テスト 実施・ゴーストチャート 浄方法、印刷部親水処理 製MVF18B型オフセッ 午後の実技ではミヤコシ 印刷部インキロール調 ・グレーチャート、印刷 整、印刷部親油処理と洗 して、給水部湿し水制作、 トフォーム輪転機を使用 現基礎などが解説され、 処理·親水処理、 目が「加工部・折部」 数值管理」(実技)、3日 その数値管理」(座学)、 刷基礎技術原理と原則、 インキロール管理、親油 度管理、給水部数値管理、 座学では印刷環境条件温 口目の講座で、午前中の (実技)、2日目が「印 「オペレーション準備 (実技)の構成。 印刷設備の条件把握と オフセット印刷部」 今回公開されたのは2



トをつかむ

寺子屋プロジェクトの 一環として

紹介された。

採託研修会は1日目が

午後の実技研修の模様が 所を移し、午前の座学、

則から具体的に解説さ

術的ポイントが、原理原 調整など、さまざまな技